関西学院大学神学部ブックレット 16

キリスト教の看取り・送り

第 57 回神学セミナー

関西学院大学神学部◎編

中道基夫（関西学院院長・関西学院大学神学部教授）、
汐碇直美（日本基督教団奈良教会牧師、淀川キリスト教病院チャプレン）、
高見晴彦（株式会社シャローム代表取締役）、**小野留緒記**（株式会社シャローム職員）、
森本典子（関西学院大学神学部専任講師）、**井上 智**（関西学院大学神学部助教）、
岸本光子（大阪暁明館病院伝道所牧師、同病院 チャプレン）、**宮岡真紀子**（日本基督教団北千里教会牧師）

牧会における重要な役目のひとつである「看取り」。教会に任された業でもある「送り」。古から続いてきた教会の営みを、周死期のケア、家族・遺族へのケア、葬儀などさまざまな視点から、ポストコロナの日本社会における、「看取り」と「送り」をもう一度考える。同大教授陣のほか、第一線で人々の「死」に向き合ってきた牧師、病院チャプレン、葬儀社職員、教誨師たちの講演を収録。

目　次

主題講演「牧会の課題としての周死期ケア」（中道基夫）
現場報告「生から死へのグラデーションを、共に歩む」（汐碇直美）
現場報告「あとは、やっておきますから」（高見晴彦、小野留緒記））
神学講演「寄り添いを超える ディアコニアの視点から考える看取り・送り」（森本典子）
シンポジウム「看取りと送り— それぞれの立場から」（井上智、岸本光子、宮岡真紀子）

A5判・並製・102頁、定価1,650円（本体1,500円+税）　ISBN978-4-87395-830-9　C0016（日キ販）